

カブトムシのお宿

2021年01月11日（日）9時30～11時30

猪高緑地 森の集会所 並びに カブトムシのお宿

今年も、名古屋市教育スポーツ協会（NESPA）主催のカブトムシのお宿のイベントを運営しました。

参加者は小学生20人、その親さんや兄弟が約20名、スタッフNESPA3名、名東自然倶楽部6名、総勢約50名のイベントとなりました。

森の集会所でカブトムシの一生の簡単な説明、外来種のカブトムシを飼っている場合は最後まで面倒を見て外に放さない事等の説明を行いました。

その後、3カ所のカブトムシのお宿で堆肥となった落葉をかき分け、カブトムシの幼虫が眠っている様子を観察、一部掘りだし手のひらに乗せて観察して貰いました。2018年の冬増設した小ぶりのカブトムシのお宿のカブトムシは他のお宿に比べて密度が低く、小さい個体でした。未だ、腐葉土の厚さが薄い為では無いかと思えます。一つのカブトムシのお宿では1ヶ月位前に大きな個体が沢山居る事を確認していたのですが、数も少なく個体の大きさも小さい物しか出てきませんでした。持ち去られたとしか考えられません。残念な事が緑地内で時々発生しています。

二班に分かれて、森の集会所周辺の落葉を拾い、カブトムシの餌の確保と遊歩道の清掃を行いました。猪高の竹で作った子供用の小さな熊手は狙い通り子供が使うには丁度良く、



長い柄で顔をつくような危険性もなく、効率よく落ち葉を集める事が出来ました。

落ち葉は山盛りに入れても直ぐに凹んでしまうので、何度も押えて沈ませ、まず軽い低学年の子に乗って歩いてもらい、その後高学年の子に乗って歩いてもらい、更に落ち葉を山盛り入れて、最後はお楽しみの落ち葉のトランポリンを行いました。今回も、落ち葉のベッドでくつろぐ子もいました。

